

学校だより Nakijin Times

神無月（かんなづき）

令和4年10月20日 今帰仁小学校

2022 October Twentieth(20th) Thursday (木)

文責：校長 屋良 篤

Number 32

しまくとぅば集会

昨日、朝の集会で5.6年生を対象に、しまくとぅば集会がありました。沖縄県では9月18日が「くとぅば」のごろ合わせで、しまくとぅばの日として2006年に制定されたようです。昨日の集会では、今帰仁村しまくとぅばサークルの渡久山さん、山本さんをお招きして方言の大切さについてお話を頂きました。沖縄の伝統行事や地域芸能、琉舞、三味線等、方言で表現されている言葉がたくさんあります。それらの伝統芸能等を残していくためには言葉の意味を理解して感情をこめて表現することが大事です。琉球の独特の文化を残していくためにも、また沖縄の心を表現するうえでも地域の方言を伝え残すことはとても意味のあることだと話されていました。

方言にも丁寧語や敬語があり、きちんと話そうとすると難しいですが、名詞などは覚えやすいですね。私も両親と片言の方言を話すことがあります。皆さんも家族で少し話題にしてみるのもいいかもしれませんね。

しまくとぅばサークルの渡久山さん山本さんありがとうございました。

古宇利島で幼小ウニの放流

5年生の水産業で働く人々（社会科）の学習で地域の漁師たちの取り組みについて学びを深めました。古宇利島はシラヒゲウニの産地として知られていますが、現在ではその姿はなく、平成25年から禁漁となったとのこと。そのため、今は、ウニの赤ちゃんを育て、海に放流する活動を行っています。成長するまで2年、寿命は約3年とのことですが天敵も多いため成長するのはごくわずかのことでした。原因は定かではない（環境の変化？）とのことですが今回の体験を通して環境保全の大切さにも気付いたことと思います。



地域話題

パステルアート完成

今帰仁で公民館講座

【今帰仁】今帰仁村教育委員会（玉城奎教育長主催）は9月25日、同村中央公民館内で、パステルアートの公民館講座を初開催した。講師には名護市などで活動する酒井麻里さんを招いた。

参加した親子らは説明を受け

ながら、自分好みの好きな色のパステル色を重ねながら、世界に一つだけのパステルアートを初めて完成させた。

参加した島袋あゆみさんは「絵心がない私でも、すてきなアートを完成させることができ、とても楽しかったです」と笑顔でコメントした。

（新城孝博通信員）

しまくとぅば集会

ゆたしく
うにげーまびら



R4.10.4 琉球新報